

令和4年度 1年2組 2学期学級経営反省

学級目標

～おもいやり～
たすけあい あったかことばのあふれる
1ねん2くみ

2学期には、秋季大運動会や秋の一日遠足などのたくさんの行事がありました。また、1学期に比べて、友達を理解し、助け合おうとする姿も見られました。学習面では、手遊びや私語が多いこともありましたが、読み書きがスラスラとできるようになるくらい、一生懸命取り組んでいる様子も見られました。2学期も残すところ、あと23日。学級みんなが笑顔で過ごせるようにしていきたいと思います。

① 学習面

- 時間の流れが分かり、次の活動を考えて行動できる子どもが増えてきた。
 - 特に、日直や係活動など、自分のすべき仕事分かり、進んで取り組むことができていた。
- 自分の考えを積極的に発表するところが増えてきた。
 - 学級全体で全員発表を目指し、積極的に発表する子どもが増えてきている。その中で、色々な考えに触れ学級としての学びが得られている。
- 「読むこと」「書くこと」「話すこと」を重点的に取り組んでいる。
 - 1学期までは、読むことに時間がかかったり、問題の意味が分からず、途中で読むのをやめたりする姿が見られていた。そこで、2学期は読むことに重点を置き、授業内でも音読をする時間を設定した。また、御家庭での取り組みの成果もあり、自信を持って音読をすることができていた。そして、年間100冊読むことを目標にたくさんの本に触れる様子も見られた。
書くことにおいては、授業で調べ学習をしたり、日記に取り組んだりする中で、句読点の書き方、文章を書くことが定着してきている。日々の宿題チェックに感謝です m(_ _)m
算数に対して苦手意識を持っている子どもは、記号の意味が分かっていたり、問題形式に慣れていなかったりする。そこで、授業の中で、子ども自身が説明をして、式の意味を理解できるようにしている。反復練習をする中で、意味を理解する子どもが増えてきた。

生活面

- 友達と一緒に、仲良く遊ぶことができた。
 - なかなか自分の気持ちが伝わらなくて、友達と些細なことでぶつかったり、嫌な思いをしたりすることもあったが、そのたびに、自分はどう関わればいいのかを考えられるように話をした。徐々に、相手のことも理解しながら、仲良く一緒に遊ぶことができるようになってきた。
- 自分の係の仕事に積極的に取り組み、学級の一員としての自覚を持っている子どもが多く見られた。
 - 自分の仕事にしっかりと責任を持ち、取り組む様子が見られた。

保健面

- 残食がほとんどなくなってきた。
 - 給食センターに行った後から、さらに一生懸命食べる様子が見られるようになってきた。
- 持久走大会に向けて、体力づくりができた。長縄が苦手だった子どもも練習を重ねていく内に、連続で入れるようになってきた。持久走後は、短縄の練習も重点的に取り組んでいきたい。
 - 色々な活動を通して、目標を持ちながら体力づくりに取り組むことができていた。

ついこの間入学しばかりだと思っていた1年生も、早いもので1年の折り返しを迎えました。2学期も、保護者の皆様には、たくさんの御協力をいただきました。大変ありがとうございました。至らないことも多く、皆様には御迷惑ばかりおかけしたかもしれません。皆様が御協力くださったおかげで、子どもたちも楽しく過ごせているようでした。今後も、お子さんのこと、気になることがありましたら、いつでもご連絡ください。引き続き、一緒に“共育”していきましょう。 2組担任 松永 愛加